

# 秋の夜長にぴったりの本を探そう

「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」のように表現されること多い季節、『秋』。そんないろいろな顔を持つ『秋』の中でも、図書館といえば「読書の秋」。今年の秋は、いつもとは少し違う読書を楽しんでみてはいかがだろうか。

## ◎豆知識

「秋の夜長」の意味

一般に、「秋」は夏至〜冬至までを指す。日の出から日の入りまでが最も長い夏至から、日の出から日の入りまでが最も短い冬至にかけて、「夜」の長さがどんどんと長くなっていく。一年で最も「夜」が長い季節が秋である。

また、夏目漱石は俳句で「明けたかと思ふ夜長の月あかり」と詠んでおり、由来のひとつとされる。



## 1 いつもとちよつと違う雰囲気の本探し

いざ読書、と読む本を探そうと思っても、どのように探せばいいかわからない方も多いと思う。そこで、まずは検索の基本をおさらいしよう。

図書館にはホームページと利用者用館内検索機（OPAC）があり、そのどちらでも本を検索することができる。書名や著者名、出版者名などを入力すれば、それらのキーワードを含む書誌が表示される。どの図書館にあるのかもわかるので、直接借りに行くこともできるし、予約して希望の館に取り寄せることもできる。しかし、この方法では、自分の知っているキーワードでしか検索ができない。そのため、比較的決まったジャンルに限定した検索結果に落ち着くことが多い。いつもとちよつと違う雰囲気の本を探すには、いつもとちよつと違う雰囲気の「キーワード」が必要だ。

## 2 いつもとちよつと違う雰囲気のキーワード探し

読者の皆さんは普段本を探するとき、どのようなキーワードで検索しているだろうか。

テレビや新聞で取り上げられるような話題の本をお探のであれば、書名で検索しているだろう。構成や話の運び方が好みに合っているなどの理由で、気に入った著者名で検索している方もいるかもしれない。数日間の休みの予定を練ろうと現地の情報を仕入れるため、お出かけ先の地名で検索することもあるだろう。

普段の利用であればそれでも十分かもしれないが、ここはひとつ、思い切った探し方を提案してみようと思う。そのためには、普段の自分では思いもよらないようなキーワードを用意する必要がある。自分とは違うことに興味を持っている

## ◎豆知識

「秋」は万能

暑さがひと段落する秋は、人が集中しやすいという18度前後の気温に加えて、湿度もあまり高くない。そのため、さまざまなことに挑戦しやすい季節であり、たとえば、より読書に集中しやすい環境と言える。また、寒い冬が来る前に出来ることは出来るだけやっておきたいという気持ちも湧きやすいのかも知れない。



## 3 「連想ゲーム」で本探し

人のアイデアを借りてみよう。

冒頭で「秋」という話をしたので、「秋」にちなんだ本を探してみることにする。しかし、「秋」だけで検索した場合、検索結果はとてつもない数になる（表示できる上限件数を越える）。そこで、検索結果を絞り込むことになるのだが、絞込みを使うキーワードを他人任せにしてみる。

インターネットで調べ物をするとき、多くの方が「検索エンジンサイト」を利用していると思う。実は、多くの検索エンジンサイトでは、ある単語に続いてスペースを入力すると、その単語と合わせて検索されること多いキーワードがいくつか表示されるようになっていく。例えば、「Google」で「秋」を入力しスペースキーを押すと、「英語」「ファッション」「季語」「イラスト」が表示される。こうして表示されたキーワードと合わせて、図書館の本を検索すれば、普段とは違った本に出会えるかもしれない。興味を惹かれるキーワードが見つからなかった方は、実際に「秋」とキーワードを組み合わせて検索した本を下記に挙げるので、ぜひ手に取ってみてほしい。

## 4 まとめ

今回紹介した本以外にも、図書館にはさまざまな本がある。「連想ゲーム」で探した本だけでなく、文学賞を受賞した作品や映画・ドラマの原作を手にとってみるのもいいかもしれない。

また、図書館では様々なテーマに沿って、展示や企画事業を実施している。軸となるキーワードを決めるときの手がかりにしてほしい。現在の展示や企画事業の情報は、図書館ホームページや各図書館のポスターで見られる他、本誌でもその一部を毎号掲載している（P.10 図書館からのお知らせ参照）ので、図書館に足を運ぶきっかけとなれば幸いである。

～参考文献～  
『パソコン教科書使って楽しむ Google 初めてのでもすぐに使える！』  
高田由和／著 2009  
所蔵：中央、東中野

※3…2016年8月5日時点

※2…「Google」や「Yahoo! Japan」などの、キーワードを入力してインターネット上の情報を検索するとき最初に使われることの多いサイト。



『月の名前』  
高橋順子／文  
佐藤秀明／写真  
デコ



『表紙はうたう 和田誠・「週刊文春」のカバー・イラストレーション』  
和田誠／著・装幀  
文藝春秋



『空中スキップ』  
ジュディ・バドニッツ／著  
岸本佐和子／訳  
マガジンハウス

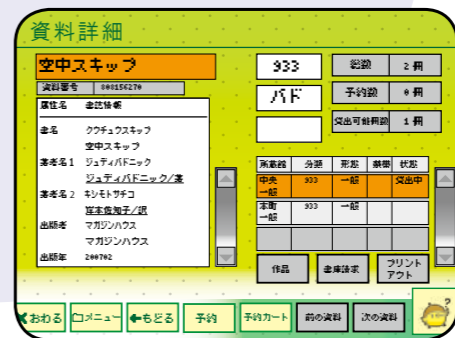
## 『秋』＋「イラスト」

## 『秋』＋「季語」

## 『秋』＋「季語」



スペースを入ると、何を知りたいのか、おのずと見えてくるかもしれない



OPACで検索すると書誌情報が表示される



今年の秋は何冊の本を読めるだろう？